

は、選択制の導入を図る中で、PTAや学校の意見を聞きながら検討していき

親子でキャッチボールができる公園を

①公園をランドゴルフなどで利用する際のルールを見直し、休日の親子の遊び場確保に配慮できないか

で同様できる限り地域住民等の意見を取り入れていく。分煙活動の推進を

低調な資金運用を打破し 運用対象の弾力化を行え

無所属 奥田 けんじ



①長期運用については信用力がある劣後債を、短期運用についてはネットバンク預金を活用してはどうか

②子育て応援メルマガでは登録情報が目立つよう工夫をすべきでは

③新井菜師駅前商店会の取り組みを参考に、地域・行政で分煙の取り組みを進化させては

④区内全域に適正な喫煙スペースを配慮すべきでは

地域の需要に応えた 子どもたちの居場所対策を

無所属 近藤 さえ子



①認証保育所は増えたが、待機児は解消していない

職員2千人体制を築くためには、行政サービスを行う別の担い手が必要である

②今後、需要が高まる乳幼児親子の居場所も減る。施設の有効活用を考へては

区長 ①毎年実施している児童クラブ入所調査の結果を踏まえて対応したい

③区長 6月末で高齢者会館などでの入浴困難高齢者支援入浴事業を廃止し、新たに介護予防・日常生活支援総合事業として、公衆浴場などを利用した通所入浴事業を7月から実施することとしている。しかし、こ

区長 事業の開始について再検討している。

成果に繋がる医療費通知を

無所属 いながき じゅん子



区は区民の健康増進、医療費抑制のため、年一回、国保加入者に医療費通知を発送しているが、わかりにくく、効果が期待しづらい

①薬の服用者だけでなく、処方者側にも使用促進を働きかけては

②積極的に取り組むべきで、周知・啓発などを行う。

区長 ①関係機関と連携し、利用促進に努める。

②積極的取り組みを促す

区長 ①関係機関と連携し、利用促進に努める。

東日本大震災を踏まえた 帰宅困難者対策を進めよ

無所属 林 まさみ



都が見直した首都直下地震などによる被害想定では、前回の想定より、区内での自力での脱出困難者は3倍、災害時要援護者死者数も2倍近く増えている。また、帰宅困難者も2万人多い見込みとなっている。東日本大震災発生後の帰宅困難者は、中野駅周辺に多く集中した。駅前開発により建設された中野セントラルパークや建設中の各私立大学と連携し、一時滞在施設としての提供の働きかけや避難所協定などが必要では

区長 中野四季の都市に進出する大学など、民間事業者の協力を得ながら中

区民の生命を守る 震災対策を

無所属 石坂 わたる



①区有施設では、子どもや障害者、高齢者などの利用者に配慮し、網入りガラスや強化ガラスに替えていくことが必要では

高次脳機能障害に対応できる人材の育成を

②高次脳機能障害に対応できる職員や支援者の育成は、高次脳機能障害者や障害者などの災害時要援護者に水や必要物資を届ける役割をだれが担うのか

区長 研修や事例研究会に職員を派遣しており、区でも研修会を実施する予定である。

学校給食食材の 放射性物質検査の実施を

無所属 小宮山 たかし



東京都の検査事業を活用して、学校の給食食材検査を実施すべきではないか

区長 現在のところ廃止施設を保育施設として活用する考えはない。

「なかのん」の路線延長を

区内南北交流のため、区の北側だけを走るコミュニティバス「なかのん」を南側まで延長してはどうか

区長 区内の現在のバス路線状況から、路線延長が必要とは考えていない。

区民が消火活動で使用した 消火器薬剤の無償補充を

無所属 むとう 有子



火元が他者の消火活動に、個人所有の消火器を使用した場合に、無償で薬剤補充をしていないのは23区では中野区だけである。薬剤補充を無償で行うべきでは

区長 消火器の薬剤補充を区が無償で行うよう、今後検討していく。

区長 事業の開始について再検討している。

区長 事業の開始について再検討している。



中野区議会定例会(一般質問)をテレビ放送しています。

中野区議会では、JCN中野(シティテレビ中野)で、議会のテレビ放送を行っています。内容は、各議員の一般質問などの録画放送です。放送予定などは、決まり次第、中野区議会ホームページに掲載します。ぜひ、ご覧ください。【問合せ】区議会事務局(電話3228-5585)

「区議会だより」は各戸配布しています

区議会だよりは、各戸配布により区民のみならずのお手元にお届けしています。また、区施設や駅の広報スタンドなどでも手に入れることができます。ご利用ください。【問合せ】区議会事務局 電話3228-5585